

令和5年度 家庭ごみ処理 手数料相当額の 使い道が決まりました

家庭ごみ有料化の目的

さらなるごみ減量とリサイクルを促進し、将来の施設整備の財源や環境施策の充実を図ること

市では、ごみ減量のため、市民のみなさんに家庭ごみ処理手数料を負担していただいております。全額を家庭ごみの処理に必要な経費に充てています。この手数料と同額の手数料相当額は、条例で使い道が定められていて、ごみ減量やさまざまな環境対策に活用することになっています。

令和5年度は手数料収入を4億6,737万8千円と見込んでいて、活用する事業の内訳は右表のとおりです。詳しくは、市ホームページでもご覧いただけます。広報ID番号 1037495



太平川

■家庭ごみ処理手数料収入(歳入)を家庭ごみの処理に充当します
4億6,737万8千円 …ごみ収集運営費の一部に充当

■手数料の歳入に相当する額は下表の事業に活用します
4億6,737万8千円 …下表の①+②+③

歳出の内訳(①+②+③)	
①一般廃棄物処理施設整備基金積立	2億3,368万9千円
②家庭ごみ減量などの対策事業	1億2,145万3千円
ごみ集積所の設置や修繕などに対する町内会への補助	751万7千円
生ごみ処理機などの購入費補助、食品ロス削減の対策	671万1千円
資源化物の集団回収を行う町内会などへの奨励金	1,359万1千円
資源化物の祝日収集	1,838万5千円
家庭から排出される古紙回収の促進・支援	4,202万9千円
ごみ減量説明会・キャンペーンなどによる情報発信	520万2千円
ごみ集積所のパトロールや現場調査・指導	443万8千円
不法投棄防止のパトロールなどの対策	540万3千円
粗大ごみ収集オンライン申込経費	95万円
家庭ごみ処理手数料収納管理など	1,722万7千円
③その他の環境対策事業	1億1,223万6千円
地球温暖化対策事業	
太陽光発電システムや木質ペレットストーブなどの導入費用補助	1,868万9千円
再生可能エネルギー施設の見学体制の整備と情報発信	264万2千円
エネルギー使用状況の分析による市有施設の効率的運用	1,078万9千円
市有4施設での省エネ設備導入による光熱費削減	831万6千円
環境配慮行動を促すスマホアプリの運用	656万3千円
地球温暖化対策実行計画の推進	106万円
溶融施設の燃料の一部としてバイオマスチップを使用	620万4千円
中小企業などの省エネを促進する設備投資を支援	3,221万8千円
生活環境の保全に寄与する事業	
微小粒子状物質(PM2.5)の成分分析業務委託	916万6千円
水銀含有ごみの収集運搬・処分に必要な経費	1,658万9千円
一般廃棄物処理施設整備基金を取り崩して実施する事業 3億442万円	
溶融施設の大規模改修や修繕などの実施(事業費の一部に充当)	

問い合わせ
環境都市推進課 ☎(888)5706

手数料相当額のイメージ

